

じしゅやかんちゅうがく
我孫子自主夜間中学 “あびこプラス・ワン” カレンダー

2019年 (令和元年)

10月 会場ご案内

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

火曜 けやきプラザ教室 **部屋の変更!! 8階から**

11階「うなぎさん家」になりました。

金曜 は湖北駅前教室 「北口はるか」 (つくばね会)

湖北台教室 「湖北台市民センター」 (消防署隣り)

「マナビトラボ」 「我孫子市子ども学習支援教室」

月曜 布佐ステーションホール」は、**10月は再開です。**

木曜 は、けやきプラザ11階 「うなぎさん家」

(問い合わせ先: 社会福祉課、電話04-7185-1111 (内線395))



< 9/14の市民のチカラ祭りで、松戸と柏の自主夜間中学の代表を講師として「自主夜間中学と学習支援」という「シンポジウム」を開きました。市民の皆さんに自主夜間中学の活動を知ってもらう会で、出席者は39人、その内市議が7人来て、関心の広がりを感じました。二階ではこれまでと同じように展示会にも「出店」をしました>

連絡先: 相澤 (あいざわ)

☎又はCメール: 090-4240-1975

Eメール: aizy9242@yahoo.co.jp

ホームページ: abikoplus.web.fc2.com

“貧しかった”昔の話 その2

私が高校卒業後働いていたのは、都の職員として定時制高校の事務室でした。そこで見たのは、昼間働き夜学びに来る若者で、自分より若い少年から年上のオジさんのような人たちでした。定時制の事務室は私一人で、仕事を早々に片づけて、自分の読書をするか、訪ねてくる「生徒」とのおしゃべりが夜の日課でした。

昼間の大学は当時は学園紛争で、私は政治家の不正や、未来の見えない社会の改革を訴える学生運動に興味は持ちながら、行動に冷やかでした。“学ばない”“働かない”学生の生活から何が生まれるのかと疑っていました。

私は大学では英・米の詩のゼミに夢中になっていました。先生の話や、暗唱を聞くのが楽しみで通い、紛争中も「学ぶべきだ」という教師と大学の外でゼミを開きました。さらにその教師の英語を書く講座に出席し、赤ペンで丁寧に直され驚きました。それまで教師にそのように見てもらったことがなかったからですが、そのことが私が高校教師を目指す後押しをしてくれたと思います。

“プラス・ワン賛助会”へ財政支援のお願い。

教室が増え、会も大きくなり、助成金を頼らずに運営ができるように、一昨年“プラスワン賛助会”を立ちあげました。

皆様の財政支援が活動の源です。どうぞよろしくお願いします。

会費は郵便振替で下記へお振込み下さい。1年2千円(一口)です。

振込先 「あびこプラス・ワン賛助会」

加入者番号 00250-2-87357 (手数料ご負担をお願いします)